

杉並区立西田小学校 第4回 学校運営協議会 メモ

- ・日時 平成30年7月9日(月) 16時30分から18時10分
- ・場所 杉並区立西田小学校図書室
- ・出席者 諏訪会長、成田職務代理、【委員】 恵羅、望月、中澤、半澤、渡邊、目黒、檜枝(記録)、小堂校長
【事務局】 新井副校長 【教育委員会】 高沢
- ・配布資料 資料1 平成30年度第4回学校運営協議会次第
資料2 平成30年度第3回学校運営協議会記録
資料3 PTA運営委員との懇談について(案)
資料4 教育活動の様子
資料5 TAMAKUSU

1 会長挨拶

- ・今回の西日本の集中豪雨でいろいろな課題が顕在化した。持続可能性について考えさせられた。
- ・6月20日(水)の校内研究会の後に「SDGsターゲット4.7」の研修を行った。20分で講演し、40分でピラミッドランキングを作るアクティビティを行った。テーマは「西田小学校の子供がもっと生き生きとするためにどうすればよいか」とした。「学校外の時間を増やす」「体育館でランチ」「中休みを30分に」といった子供たちをのびのびと生活させる項目が多く上がった。現実には安全重視で萎縮しており教員だけで変えることは難しいので、学校運営協議会の議論を通じて地域の力も取り込んで、改善の方向を探りたい。

2 校長挨拶

- ・7月7日(土)から8日(日)に、おやじの会がお泊り会を行った。
- ・今回の集中豪雨は他人事ではない。

3 前回の協議会記録について

- ・了承された(資料2)。

4 教員との懇談を通して

- ・会長から「6月20日の校内研究会では直接的な教員との懇談は少なかったと思うが、今後の参考にするため参加者のご意見を頂きたい」との発言があり、以下の意見が出た。
- ・自分たちのころとは授業の様子が全く変わり、例えば「逆さクラゲ」などわからないことが多く、的外れな質問をした。
- ・研究授業の後の振り返りでは、教員間で授業をよくするための真摯な議論が行われており感心した。
- ・教室では生徒から「すごい文言」が出ていたが、理解不足で表面的な言葉にとどまっているおそれを感じた。以前はISO14001関連の活動を熱心に行い高井戸の清掃工場の見学など子供の身近なテーマも行ってた。大きなテーマと身近なテーマを有機的に関連させることが大切ではないか。

- ・今回の研究授業は一連の授業の一コマなので、全体の流れの中で見るのが大切だが、コンテキストが見えない状況での見学であった。
- ・TAMAKUSU 第 4 号（資料 5）の紹介とともに、子供が身近なこととグローバルなことを結び付けるには継続が大切であるとの指摘があった。
- ・今回見学した研究授業は、全体で 70 時間の総合的な学習の 15 時間目の一コマなので、一コマだけで判断できない点を留意してほしい。
- ・振り返りの時間では、教員間で厳しい意見や辛辣な意見が交わされていて、学びの場として機能していたのが印象的だった。また、若い教員も積極的に発言していたのも良かった。
- ・「教え込む教育から生徒が自ら学ぶ学習へ」という大きな変化が起きており、文科省の指導要領も変わってきた。現在の教育では「基礎の修得」と「それを活用する」の両方が求められている。今回の研究授業はその中での取り組みと理解してほしい。関連して、会長の著書「学校教育 3.0」の紹介があった。
- ・総合的な学習は教科書が無いので、全体のプログラム作りが大変だが、学年全体で作っている。
- ・男女の違いについての議論があった。
- ・いろいろな子供がいるので、関心のない子供はどうするのかとの質問に対して、校長から関心でグループ分けしているとの説明があった。
- ・グループワークで学ばないいわゆる「お客さん」を生まないように配慮する必要がある。
- ・上海は 20 年前に学習者中心に教育方法を大きく変えた結果、レベル 1（最低）が激減した実績があるので、教育格差を少なくする教育方法である。
- ・グループワークの手法はいろいろあるがジグソー法が優れている。ジグソー法も最初は難しかったが、良い実践例がネットで公表されるようになってきて、良い流れができてきた。ほかのグループワークの方法も生まれてきている。
- ・時間がかかる方法なので、すべての授業をこの方法で行うことはできない。あるトピックをこの方法で行うと他の授業にも波及効果があるということか。
- ・小学校の教科は増えて授業時間も増える傾向にあるが、授業時間を減らして自由な遊びを通じて感性を養うことが、小学生には最も大切と思っている。

5 PTA 懇談会の進め方について

- ・資料 3 に基づいて案の説明があり、以下の意見が出た。
- ・6 月 28 日（木）に P T A 運営委員会で会長が挨拶と学校運営協議会の紹介を行ったが、学校運営協議会の理解を深めてもらうために、会長が資料を配布して要点を説明するのが良い
- ・懇談を充実するための方策について議論があり、6 月 20 日（水）校内研究会終了後の研修で会長が用いたピラミッドランキングを行うことになった。
- ・テーマは会長と職務代理で相談して決める。

6 その他・事務連絡

6-1 以下の説明等があった。

- ・校内研究会 7 月 12 日（木）13：15～；研修 16：30～
- ・教育活動の様子について新井副協調から紹介があった（資料 4）。

- 学校支援本部からNサポ（新聞を読む）活動などの説明があった。
- 学校運営協議会日程の変更。10月1日を10月15日に変更。
- 9月27日（木）10：30～11：30のPTAとの懇談終了後、給食で昼食。生徒と一緒にとれるか検討する。

6-2 次回の学校運営協議会予定

8月27日（月）16：00～17：30